

製品名: MCT4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13742**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	49kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC16A3
別名	SLC16A3; MCT4; Monocarboxylate transporter 4; MCT 4; Solute carrier family 16 member 3
遺伝子 ID	9123.0
SwissProt ID	O15427
免疫原	抗血清はヒト MOT4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 233-282

背景

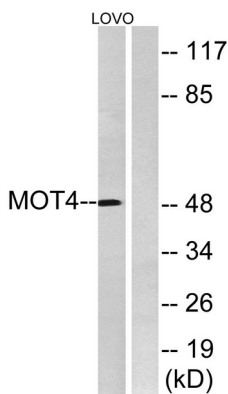
乳酸およびピルビン酸の細胞膜輸送は、プロトン結合モノカルボキシレートトランスポーター（MCT）ファミリーのメンバーによって触媒され、このファミリーは溶質輸送体ファミリー 16 と命名されています。各 MCT は、それぞれが属する組織の代謝要件と関連

し、基質および阻害薬に対する特異性、ならびに輸送速度論において若干異なるようです。MCTには、MCT1 (SLC16A1; MIM 600682) および MCT2 (SLC16A7; MIM 603654) が含まれ、12 個の膜貫通ドメインが予測されています (Price et al., 1998 [PubMed 9425115])。[OMIM 提供、2008 年 3 月]、機能: プロトン結合モノカルボキシレートトランスポーター。乳酸、ピルビン酸、ロイシン、バリン、イソロイシン由来の分岐鎖オキソ酸、そしてケトン体であるアセト酢酸、 β -ヒドロキシ酪酸、酢酸など、多くのモノカルボン酸の細胞膜を介した迅速な輸送を触媒する。類似性: 主要促進因子スーパーファミリーに属する。モノカルボン酸ポーター (TC 2.A.1.13) ファミリー。組織特異性: 骨格筋で高発現する。

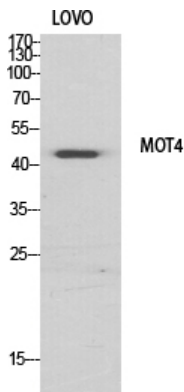
研究分野

代謝; 経路とプロセス; 代謝シグナル伝達経路; 炭水化物代謝; シグナル伝達; 細胞膜; チャンネル; がん; がん代謝

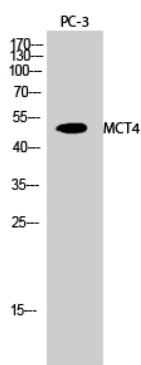
画像データ



MOT4 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した MCT4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



MCT4 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた PC-3 細胞のウェスタンブロット解析

